

4 学校における子ども読書活動の推進

子どもと保護者への取り組み

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成20年度(2008年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
79	子どもの読書活動への取り組み	子どもが主体となって読書の豊かさ・楽しさを体験し、伝え合う催しを学校・関連機関・団体が連携して行う。	継続				高校生ボランティア講座では高校生自身が作成した紙芝居を近隣の小学校の放課後こどもクラブで実演した。さらに地域こども教室カーニバルなど行事の中で講座の修了生が読み聞かせなどの実演を行うことが定着してきた。	市立図書館
	子どもの読書活動への取り組み	子どもが主体となって読書の豊かさ・楽しさを体験し、伝え合う催しを学校・関連機関・団体が連携して行う。	継続				夏休み開館・読書週間などの行事を通じて、本の帯作成、しおりづくり、図書館クイズ、おはなし会、工作教室などを行った。また地域の中学生在が小学校へ、小学生が保育所へ行き、読み聞かせをする交流もある。これらの行事・活動では、校内だけでなく、PTA、地域の関連機関・団体が協力して行う場面も見られた。	義務教育課
80	読書教育の推進	授業をはじめとした学校教育活動の中に読書を位置づけて取り組みを進める。	継続				「図書の時間」や「朝の読書」を設定し、教員と学校司書など学校図書館担当が協力して、読書の楽しさを知る学習をしたり、「総合的な学習の時間」などの授業の中で、学習内容や児童生徒の興味関心に沿って、関連した本の紹介や読み聞かせなどにより、学習を深めている。また、地域ボランティアや保護者等の協力を得て、読み聞かせを行っている学校もある。中学校では、「中学校読書活動推進事業」を全校で実施し読書活動の活性化を進めた。	小・中学校義務教育課
81	読書教育の推進	読みたい本を自由に読む読書活動を教育活動の一環として位置づけ、子どもの主体的な読書につながるよう取り組みを行う。	継続				年度始めの図書の時間などにオリエンテーションを学校図書館で実施し、図書館の使い方、レファレンスサービスなどの図書館サービスを児童生徒に伝えている。月曜から金曜まで毎日図書館を開館し、「図書の時間」や休み時間、そして放課後に貸出を行っている。また、リクエスト制度を取り入れ、児童生徒が読みたい本を読めるようにしている。校内の本で足りない場合は週1回の物流便により公共図書館や市内他校の協力を得ている。	小・中学校義務教育課
82	読書活動の推進	学校での読書会など、自分と友だちとの共感や感じ方の違いを体感し、本への興味が持てるよう機会をつくる。	継続				児童生徒が、委員会より本の紹介冊子の作成・本の紹介カードの展示を通じ、本をすすめあったり、授業や読書会で感想を交流した。また原作本のある映画会を行うなどして、本の世界を共有する企画も実施した。	小・中学校

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成20年度(2008年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
83	「おはなし会がやってきた！」(旧おはなし指導者派遣事業)	子ども文庫やおはなしグループに依頼し、日ごろ図書館を利用しにくい子どもたちに出前のおはなし会を行う。 [58、100、135にも掲載しています。]	継続		おはなし会の回数 参加人数	7カ所で9回開催、参加人数は661人	平成20(2008)年度より「おはなし会がやってきた!」として実施。民間保育所(園)4カ所(園)、支援学校1校(3回開催)、障害児通園施設2カ所でおはなし会を行った。事業をきっかけとして、実施園への団体貸出などの図書館サービスが始まった。	市立図書館
84	保護者への取り組み	保護者に対して、子どもの読書の大切さを伝える。	継続		回数 参加人数		市立図書館での取り組みは乳幼児の保護者向けの講座が多く、小中学生の保護者対象の取組は今後の課題となっている。また市民を対象とした子どもの読書の大切さを伝える事業として、子どもと本のつどいを実施している。	市立図書館
	保護者への取り組み	保護者に対して、子どもの読書の大切さを伝える。	継続				保護者への働きかけとして、児童・生徒向けの図書館だよりなどで、保護者啓発を含め「子どもの読書の大切さ」や学校図書館の活動が伝わるように工夫している。また、親子読書会等を実施し、家庭における読書活動の支援等を行っている学校もある。授業や日頃の図書館サービスを通じて、児童・生徒、教職員を主な対象に活動しているため、保護者への直接的な活動はまだ活発とはいえない。	学校図書館 義務教育課

子どもの本や読書に関する情報提供

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成20年度(2008年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
85	情報交流	地域で学校や市立図書館、読み聞かせボランティアが子どもや読書に関する情報を共有し、子どもの読書活動を推進する。	継続				地域ボランティアが読み聞かせをおこなっている学校では、情報交換が行われている。	小・中学校 義務教育課
	情報交流	地域で学校や市立図書館、読み聞かせボランティアが子どもや読書に関する情報を共有し、子どもの読書活動を推進する。	継続		「子どもと本をつなぐ地域交流会」の回数と参加人数	4回121人	豊中市内4地域で実施。豊中市子ども読書活動推進連絡協議会のワーキンググループのメンバーが中心となって運営にかかわっている。活動の報告や地域の課題解決に向けてのワークショップなどを行った。今後は子どもにかかわるより多くの人に参加してもらえるよう、PRや内容の工夫が課題である。	市立図書館
	<p>・人と本のつながりがいろいろな分野で広がっていることがわかり心強く思いました。</p> <p>・他の学校、他の地域の活動がわかってよかった。また参加したい。</p> <p>・前年度に比べ参加者が少なかったのが残念でした。人数的には、ゆっくり話ができよかったと思います。</p> <p>・問題点ばかりがあり、解決にいたらなかったことが残念です。</p>							

読書環境の整備

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成20年度(2008年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
86	図書費の確保	豊かな読書活動と充実した学びを保障するため、全国学校図書館図書費などをふまへ、図書費の確保等、資料整備を進める。	継続		図書購入予算	図書購入予算 小学校 2,725万円 中学校 1,579万円 幼稚園 154万円	厳しい財政状況の中、前年度予算を確保した。今後も可能な限り配当予算を確保していきたい。	教育施設課 総務課
87	図書館の改修	学校図書館を学校の中の魅力ある場として、財政状況や校舎の改築・改修の時期等を総合的に考え、整備を進める。	継続				学校図書館の整備については2教室を1教室にする工事が伴い、1校あたり1,500～1,900万円程度かかり、さらに耐震補強も必要なため予算の確保は困難と思われるが、財政状況を考慮しながら整備していきたい。	教育施設課
88	蔵書管理システムの研究	学校及び市立図書館の蔵書を効果的に活用するため、関係機関が連携した研究を進める。	継続				導入にかかわる必要経費の資料収集及び全校実施を行った京都市の視察を行った。	義務教育課 市立図書館 教育センター
89	学校図書館資料運搬システムの効果的運用	学校図書館・市立図書館間における資料運搬システムの効果的な運用に向けて研究を進める。	継続				週1回の稼働がより効果的に運用できるよう市立図書館と共に研究を進める。	義務教育課 市立図書館

子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成20年度(2008年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
90	学校・市立図書館連絡会	子どもの読書活動と学習活動の充実に向け、学校・市立図書館間で資料活用状況等に関する交流(情報交換や研修)の場を定期的に設ける。 [157にも掲載しています。]	継続		会合 研修 回数	9回(8館×1回+1回)	義務教育課を通じて、市立図書館の司書と担当する地域の小・中学校の学校司書と交流会を持った。当日は図書館の資料を活用した授業の様子や学校図書館の取り組みなど、学校における子どもの読書に関する情報交換とともに、図書館における地域の子どもの読書に関する情報交換を行った。また毎年、新任学校司書向けに市立図書館司書による研修を実施している。さらに平成19(2007)年度に実施した学校図書館連絡会中学部会と市立図書館との交流会は未実施のため平成21(2009)年度実施に向け、内容、時期を義務教育課を通して検討していく。	義務教育課 市立図書館

子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成20年度(2008年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
91	中学生・高校生による読み聞かせボランティアへの指導・支援	中学生・高校生による読み聞かせボランティアに絵本の選び方や読み聞かせについての指導を行い、活動場所を提供するなどの支援を行う。 〔17、72、160をご参照ください。〕	拡充		生徒の参加人数	11人	中学校での読み聞かせボランティア体験学習を7回実施。本読みの実演、プリントでの説明、市立図書館での本選び、練習、放課後こどもクラブ(3カ所)での読み聞かせの実習の指導。学校側より日程をもう少し早くしてほしい。	おはなしボランティアポケット
	中学生・高校生による読み聞かせボランティアへの指導・支援	中学生・高校生による読み聞かせボランティアに絵本の選び方や読み聞かせについての指導を行い、活動場所を提供するなどの支援を行う。 〔17、72、160をご参照ください。〕	拡充		講座回数参加人数	高校生ボランティア講座3回21人	市立図書館と地域教育振興課が共催し、「高校生ボランティア講座紙芝居入門」を実施した。実際に高校生が手作りの紙芝居を作成し、近隣の小学校の放課後こどもクラブで講師とともに実演を行った。講座終了後の活動の支援が課題となる。	市立図書館
	中学生・高校生による読み聞かせボランティアへの指導・支援	中学生・高校生による読み聞かせボランティアに絵本の選び方や読み聞かせについての指導を行い、活動場所を提供するなどの支援を行う。 〔17、72、160をご参照ください。〕	拡充				保育実習や職場体験活動、委員会活動の一環として、中学生が近隣の保育所や幼稚園、小学校で絵本の読み聞かせを行った。	義務教育課
92	「学校における読み聞かせボランティアのバックアップ講座」	学校で読み聞かせを行っているボランティアに対し、講座を実施するなど継続的な支援を行う。	継続		バックアップ講座の回数参加人数	2回54人	岡町図書館で岡町・服部地域の小学校で活動されている方を対象に2回連続講座として開催。他地域での開催も次年度以降要検討。当日は、普段、顔を合わせることのない参加者同士がお互いにアドバイスをしあうなど、よい交流の機会ともなった。	市立図書館

子どもに関わる大人への啓発と研修

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成20年度(2008年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
93	管理職研修	「豊中市子ども読書活動推進計画」を周知し、教育課程上における学校図書館活用の必要性・有効性に関して研修を行う。	継続				読書活動推進計画を周知し、管理職研修他において、学校図書館の活用のあり方等についての研修を行った。	義務教育課
94	教職員への啓発・研修	「豊中市子ども読書活動推進計画」の内容について教職員に周知する。また、夏休みを利用して、教職員向けに図書館見学や図書館・図書館資料の効果的な活用等の研修を行う。 〔162をご参照ください。〕	拡充				小学校の教員向けに図書館職員によるインターネットでの情報検索についての研修を行った。	市立図書館
	教職員への啓発・研修	「豊中市子ども読書活動推進計画」の内容について教職員に周知する。また、夏休みを利用して、教職員向けに図書館見学や図書館・図書館資料の効果的な活用等の研修を行う。 〔162をご参照ください。〕	拡充				夏休みに限定したものではないが、NO.95(学校図書館教育担当者研修)で取り上げられているような教職員対象の研修を年2回行った。また、各校において学校図書館の活用に関する研修も行われている。	義務教育課
95	学校図書館教育担当者(司書教諭)研修	学習指導方法の工夫改善と学校図書館の効果的な活用に関する研修を行い、相互交流・情報交換の場を持つ。	継続				年2回、研修会を開催し、講演会や実践交流会を行った。	義務教育課
96	学校司書研修	学校教育における効果的な読書並びに学習活動への支援に関する研修を行う。	継続				学校図書館担当者(司書教諭)の研修に加え、学校司書の連絡会を実施し、小中部会ごとに各校の取り組みの交流等を行った。また、公共図書館や教育委員会、学校現場から講師を招き研修会も行った。	義務教育課